



田原幼稚園 完成



広報

ふくさき 4

2012
(平成24年)
No. 544

「活力にあふれ 風格のある 住みよいまち」をめざして

平成24年度予算のありまし

平成24年度予算は、一般会計69億9,200万円（前年度比7・5%減）総額128億970万円（6・5%減）で可決されました。

町長提案説明の抜粋

3月11日の東日本大震災から1年です。この震災では、福島原発事故が重なったため、これまで経験したことのない大災害となりました。また、経済危機が世界的に広がっています。こうした政治・経済の状況下で、国会では、大震災復旧・復興の取り組み、社会保障と税の一体改革、TPPへの対応、沖縄の米軍基地問題が大きく議論されています。

地方自治体として、こうした状況を念頭に置きながら予算編成を行いました。まちづくりの大きな視点として、科学の目を持つこと、視野を広げグローバルな目を持つこと、地産地消の目を持つことが大切だと考えています。科学の目を持つことの大切さは、原発事故後、特に重視する必要があります。原発の情報が次々と報告されていますが、私たちの手の届かないところにつ

いては、情報を受ける時には慎重に、手の届く範囲では、事実にもとづいて判断し、正確な情報の発表を心掛けていかなければなりません。

視野を広げることは、情報、通信手段が発達した今日にあって大変大切なことです。アフリカや中東では、長く続いた独裁政治への重圧をはねのけ民主化のうねりが高まっています。ギリシャの経済危機はヨーロッパ全域に波及し、今や全世界で取り組まなければならない課題となっています。

地産地消の目は、足もとをしつかりと見ることが大切だということです。福崎町の人、組織ものに目を注ぎ、再評価し、活用することが大切になってきています。

地方自治の原点「公共の秩序を維持し、住民及び滞在者の安全、健康及び福祉を保持すること」を達成するために努力をしましたが、国会では、財政再建のために消費税を引き上げ社会

保障は削ろうとする動きが活発です。国県町の予算もそうした制約の中で編成されるものです。したがって、税をどのように集め、集めた税をどのように使うかは、大いに論議して決めなければなりません。

私は、税の原則と言われる申告納税制、生活費非課税、高度累進課税の原則を守り、公平性を高め応能負担を原則とするなら、税収はもっと大きくなるかと確信しています。税の使い方においても、不要不急の予算を削って社会保障にまわせば、財政再建と社会保障の両方もがよりよく進行するのではないかと考えています。

予算編成で、国保、介護、後期高齢特別会計において税率や料金の引き上げを提案していますが、住民の皆様には申し訳ない気持ちであり、私自身は残念であります。一般会計から多額の繰入も考えましたが、医療費の増高、収入の減額に見合う全てを繰入れることは無理があると考えました。

本年度は福崎町第四次総合計画の9年目の年です。この計画を念頭に置きつつ、3つの目を

大切にしながら、予算編成を行いました。

主な重点施策

- ・ 議会事務局
- ・ 議会録画映像のホームページでの公開
- 総務課
 - ・ 女性委員会の継続設置
 - ・ 人事評価の取り組みの推進
 - ・ 県との人事交流等、研修の充実
- 企画財政課
 - ・ 地域づくり推進事業やアドプト事業など参画と協働のまちづくりの推進
 - ・ 自治基本条例の検討
 - ・ 債権管理条例による適正な滞納対策の推進
 - ・ 前納報奨金制度の見直し
 - ・ 住民生活課
 - ・ 住民基本台帳の外国人住民対応
 - ・ 子どものための手当の創設
 - ・ 町営住宅の家賃滞納対策の推進
 - ・ 防災資機材の充実と自主防災組織の育成強化
 - 健康福祉課
 - ・ 中学3年生までの通院・入院医療費無料化の継続
 - ・ 巡回バスの定時定路線運行とデマンド運行を合わせた再編運行の実施
 - ・ 食育推進計画にもとづく地産地消による食育の推進
 - ・ 子宮頸がん等のワクチン接種の全額公費負担の継続
- 産業課
 - ・ 国民健康保険事業に対する一般会計からの財政支援の強化
 - ・ 介護保険事業の第5期計画にもとづく保険料の改定
 - ・ 農業者戸別所得補償制度の継続
 - ・ 地域農業マスタープラン策定による農地集積化促進
 - ・ 県営西治地区ほ場整備事業の推進
 - ・ 町営倉谷下池の整備
 - ・ 山林の地籍調査事業の推進
 - ・ 産業活性化緊急支援事業の継続
- まちづくり課
 - ・ 中島井ノ口線、高橋山崎線など幹線道路の整備
 - ・ 急傾斜地崩壊対策事業の実施
 - ・ 福崎駅前広場及び県道甘地福崎線の整備計画検討
 - ・ 辻川地区の舗装美化
 - ・ 都市計画道路の見直し検討
 - ・ 住宅耐震改修に対する補助金の継続
 - 下水道課
 - ・ 浄化センター汚泥処理施設（第2系列）の整備
 - ・ 西光寺地区の面整備
 - ・ 川端雨水幹線及び川すそ雨水幹線の整備
 - 水道課
 - ・ 下水道工事に併行した配水管の整備
 - ・ 浄水高度処理の推進
 - ・ 山崎配水池進入路道路（2期工事）の実施

総額 128億970万円

一般会計 69億9,200万円

平成24年度一般会計及び特別会計予算総額

(単位：千円、%)

会計名	予算額		比較	
	本年度	前年度	金額	前年比
一般会計	6,992,000	7,563,000	571,000	7.5
国民健康保険事業特別会計	2,001,000	1,903,500	97,500	5.1
後期高齢者医療事業特別会計	220,800	209,700	11,100	5.3
介護保険事業特別会計	1,335,000	1,254,600	80,400	6.4
農業集落排水事業特別会計	254,400	255,300	900	0.4
公共下水道事業特別会計	1,346,100	1,844,400	498,300	27.0
水道事業会計	638,800	650,975	12,175	1.9
工業用水道事業会計	21,600	24,272	2,672	11.0
合計	12,809,700	13,705,747	896,047	6.5

- 学校教育課
 - 田原幼稚園の開園
 - 八千種幼稚園実施設計
 - 田原・八千種校区対象の学童保育園整備
 - 東部子育て学習センターの開設など子育て支援の充実
 - 児童生徒の国際理解教育と小食育推進計画にもとづく食育の推進と安全で安心な学校給食の提供
 - 社会教育課
 - 大庄屋三木家住宅の保存修理事業継続
 - 柳田國男の顕彰事業推進
 - 図書館の蔵書充実及び土日祝日の閉館時間を午後6時に延長
 - 学校支援地域本部事業の継続

平成24年度一般会計歳入内訳及び比較表

(単位：千円、%)

科目	予算額		前年比	構成比	
	本年度	前年度		本年度	前年度
①町 税	3,071,500	3,094,300	0.7	43.9	40.9
②地方譲与税	81,000	80,700	0.4	1.2	1.1
③利子割交付金	6,400	6,600	3.0	0.1	0.1
④配当割交付金	5,800	3,900	48.7	0.1	0.1
⑤株式等譲渡所得割交付金	2,000	1,600	25.0	0.0	0.0
⑥地方消費税交付金	230,000	220,000	4.5	3.3	2.9
⑦ゴルフ場利用税交付金	20,000	26,000	23.1	0.3	0.3
⑧自動車取得税交付金	25,000	28,500	12.3	0.3	0.4
⑨地方特例交付金	6,000	29,200	79.5	0.1	0.4
⑩地方交付税	1,040,000	1,010,000	3.0	14.9	13.4
⑪交通安全対策特別交付金	4,100	4,400	6.8	0.1	0.1
⑫分担金及び負担金	288,301	265,665	8.5	4.1	3.5
⑬使用料及び手数料	94,687	102,317	7.5	1.4	1.3
⑭国庫支出金	451,377	628,606	28.2	6.4	8.3
⑮県支出金	520,463	498,797	4.3	7.4	6.6
⑯財産収入	4,384	33,532	86.9	0.1	0.4
⑰寄附金	2,501	2,501	0.0	0.0	0.0
⑱繰入金	66,447	85,729	22.5	0.9	1.1
⑲繰越金	60,000	60,000	0.0	0.9	0.8
⑳諸収入	374,840	369,753	1.4	5.4	4.9
㉑町 債	637,200	1,010,900	37.0	9.1	13.4
歳入合計	6,992,000	7,563,000	7.5	100	100

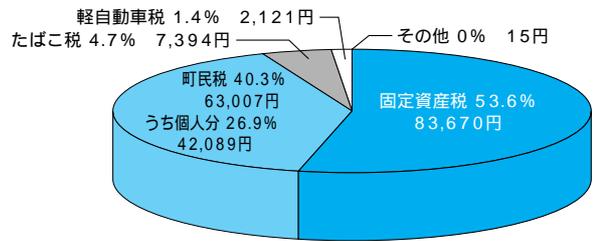
平成24年度一般会計歳出目的別内訳及び比較表

(単位：千円、%)

科目	予算額		前年比	構成比	
	本年度	前年度		本年度	前年度
①議会費	132,675	141,602	6.3	1.9	1.9
②総務費	647,898	661,071	2.0	9.3	8.7
③民生費	2,135,631	2,699,647	20.9	30.6	35.7
④衛生費	543,540	603,751	10.0	7.8	8.0
⑤農林水産業費	425,372	426,566	0.3	6.1	5.6
⑥商工費	281,581	305,130	7.7	4.0	4.0
⑦土木費	758,070	769,527	1.5	10.8	10.2
⑧消防費	276,808	282,613	2.1	4.0	3.7
⑨教育費	814,525	797,912	2.1	11.6	10.6
⑩災害復旧費	93,000	0	皆増	1.3	0.0
⑪公債費	880,900	873,181	0.9	12.6	11.6
⑫予備費	2,000	2,000	0.0	0.0	0.0
歳出合計	6,992,000	7,563,000	7.5	100.0	100.0

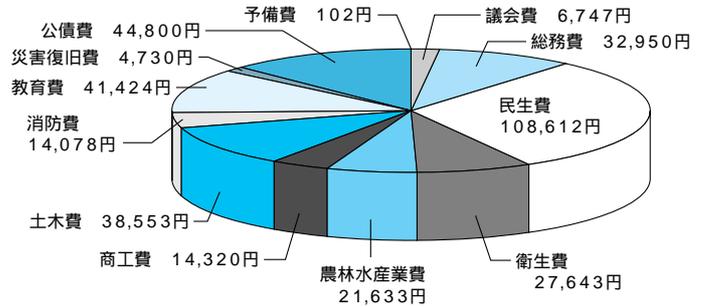
私たちが負担する税(1人当たり)

2月29日現在の人口19,663人で156,207円



私たちに使われる町のお金(1人当たり)

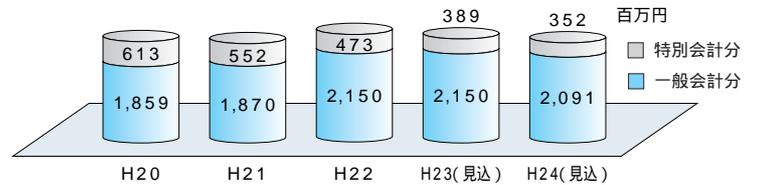
2月29日現在の人口19,663人で355,592円



基金積立金現在高

平成24年度末残高見込

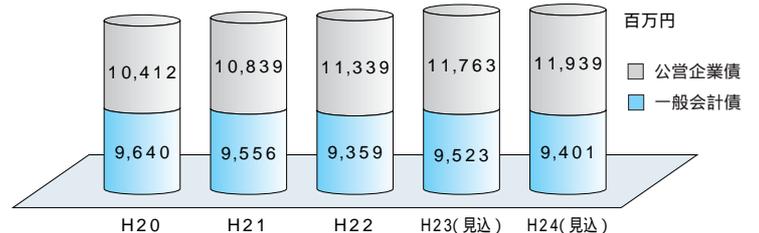
一般会計	20億9,100万円 (1人当たり約106,651円)
特別会計	3億5,200万円 (1人当たり約17,954円)
合計	24億4,300万円 (1人当たり約124,605円)



地方債現在高

平成24年度末残高見込

一般会計	94億100万円 (1人当たり約478,000円)
公営企業会計	119億3,900万円 (1人当たり約607,000円)
合計	213億4,000万円 (1人当たり約1,085,000円)





3月4日、「平成23年度福崎町スポーツ功績賞・文化功績賞・吉識雅夫科学賞」の表彰式が行われました。(受賞者は下表のとおり。順不同。敬称略。)

受賞者のみなさん、おめでとうございます。

(社会教育課)

【スポーツ功績賞】 福崎町民または出身者及び町内に所在する団体で、特に優秀な成績をおさめた個人や団体

番号	氏名	所属	内容	種目	成績
1	小西 風羽	高岡小学校(2年生)	第11回全日本少年少女空手選手権大会	小学2年生女子組手競技	出場
2	石山 歩	福崎東中学校(3年生)	第38回全日本中学校陸上競技選手権大会	砲丸投	優勝 文部科学大臣賞
3	牛尾 祐貴	福崎東中学校(3年生)	第10回日本バドミントン・ジュニアグランプリ2011	団体戦・中学生ダブルスの部	出場
4	岡本 開登	福崎東中学校(3年生)	第51回全国中学校水泳競技大会	男子1500m自由形	出場
5	松岡 絵里	姫路商業高等学校(2年生)	平成23年度全国高等学校総合体育大会(第64回全国高等学校陸上競技対校選手権大会)	女子七種競技	5位
6	藤原のどか	近畿医療福祉大学(1年生)	2011年アジアベンチプレス選手権大会	ジュニア女子57kg級	銀メダル

【文化功績賞】 文化的活動や発展に功績があった個人や団体

氏名	所属	分野	内容
岡本 智央	福崎東中学校(3年生)	人権尊重思想の啓発活動	第31回全国中学生人権作文コンテスト 兵庫県大会最優秀賞受賞

【吉識雅夫科学賞】 町立学校で自然科学分野において優れた研究、観察などを行った児童生徒

部門	氏名	所属	内容
中学生の部	西井 俊裕	福崎東中学校(1年生)	炎色反応について
小学生低学年の部	高坂 実由	八千種小学校(4年生)	エコ生活
小学生高学年の部	藤後 結衣	福崎小学校(6年生)	さびの研究

吉識雅夫科学賞・文化功績賞・
スポーツ功績賞「表彰！」

各種の相談事業(定例分)

サルビア会館でさまざまな相談を受けていますのでご利用ください。

人権相談

毎月第3水曜日 10:00~15:00
(担当=住生活課・内線374)

母子相談

毎月第2・4水曜日 10:30~15:00
(担当=健康福祉課・内線353)

なやみごと相談

毎月第1・3水曜日 13:00~15:00
(担当=社会福祉協議会・☎23 0300)

行政相談

毎月第3水曜日 13:00~15:00
(担当=総務課・内線221)

第30回福崎町美術展開催

会期: 5月18日(金)~20日(日)
9:00~17:00(20日は15:00まで)

会場: エルデホール



日本画、洋画、書、写真、彫塑工芸5部門の公募作品などを展示します。

多数のご来場をお待ちしています。

(文化センター)

田原幼稚園が完成しました！

平成23年7月から建設を進めていた田原幼稚園が完成し、福崎町で2園目となる幼保一体化施設として開園しました。

田原保育所の老朽化による建替とともに、田原幼稚園の隣に建設し、幼稚園と保育所を一体的に運営していきます。

新築部分には、乳児から4歳児までの保育室や遊戯室、職員室などを配置しています。既存部分も含めて全室に空調設備を導入し、さらに太陽光発電を採用して環境に配慮した施設としました。

また、乳児室と1歳児室、2歳児室に床暖房システムを採用するとともに、保育室や遊戯室、廊下などに県産木材を使用し、園児たちが木のぬくもりを感じながら快適に過ごせるように配慮しました。

建設にあたり、地元の方々をはじめ関係各位のご理解とご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。
(学校教育課)



田原幼稚園の概要

規模：【建築面積】2,437.50㎡(新築部分1,710.91㎡)

【延床面積】2,350.51㎡(新築部分1,701.76㎡)

構造：鉄筋コンクリート造

建設工事費：約3億2,980万円

設計・監理：(株)小西建築設計事務所

施工：(株)北村工務店

4月から手当の支給額が変更になります

児童扶養手当・特別児童扶養手当

【児童扶養手当】

	(現行)	(変更後)
全部支給 月額	41,550円	41,430円
一部支給 月額	41,540円	41,420円
	～9,810円	～9,780円

【特別児童扶養手当】

	(現行)	(変更後)
1級 月額	50,550円	50,400円
2級 月額	33,670円	33,570円

8月の支給(平成24年4月～7月分)から変更となります。

(住民生活課)

特別障害者手当・障害児福祉手当

【特別障害者手当】

	(現行)	(変更後)
月額	26,340円	26,260円

【障害児福祉手当】

	(現行)	(変更後)
月額	14,330円	14,280円

5月の支給(平成24年2月～4月分)から変更となります。

(健康福祉課)

食育通信

～みんなで食育を実践しよう～

ごはん食推進標語 優秀賞受賞

「食べようよ おいしいごはん で 元気いっぱい」
福崎小学校 中本百音さん

2月18日、兵庫県公館で「平成23年度お米と健康のつどい」が開催されました。「おいしいごはんを食べよう県民運動」の取り組みとして、県内から13,240点の応募があった「ごはん食推進標語」の表彰式が行われ、福崎小学校4年生の中本百音さんが優秀賞を受賞されました。おめでとうございます。



「早寝・早起き・“朝ごはん”を食べよう!」を合言葉に…
毎日を元気に過ごすためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な睡眠が大切です。
福崎町では「早寝・早起き・“朝ごはん”を食べよう」運動を推進しています。
望ましい生活リズムの向上に努めましょう。

町のホームページに食育コーナーができましたのでご覧ください。



全国中学生人権作文コンテスト
兵庫県大会最優秀賞受賞作品

大切なこと

福崎東中学校3年(当時)

岡本智央

私は、修学旅行で「沖縄」に行くことをきつかけに、「大切なこと」をふり返ることができました。

私はこれまで「沖縄」に対して、「海がきれいで暖かい」といった美しい観光地のイメージしかもっていませんでした。だからこの修学旅行に関して、初めの頃は勉強ではなく遊びに行くような気持ちで半分以上を占めていました。しかし、学習を進めていく中で、「沖縄」に壮絶な歴史があったことを知りました。

まずは社会で「沖縄戦」について学びました。私は最初「沖縄戦」って何？などのん気なことを考えていました。

しかし、授業を受けていると驚きの連続でした。

「沖縄」は、日本で唯一地上戦が行われた場所でした。戦況が苦しくなってきたら、5歳ぐらいの子どもから、70歳ぐらいの老人、女性までもが戦争にかりだされました。

そして、残された人々は、真っ暗な「がま」という洞窟の中で、静かに身を潜めて一日でも早く戦争が終わることを願いながら、家族の無事を祈りながら、必死に生きていました。それなのに、「自分たちを守ってくれる」と信頼していた日本軍に、最後は「自決」を強要されました。「自決」とは、「自分で死を選ぶ」ということです。必ず元の平和な生活に戻ってくる信じ、怖くて辛くて哀しい日々を一生懸命生き抜いてきたのに、沖縄の人々には、結局「死」という選択肢しか残されていなかった。そう思うと、何も言葉が浮かびません。

社会の授業以外にも、道徳や総合の時間に、ビデオで戦争を体験された方や、その家族の方が語る戦争の話の聞きました。その話の中で、私には一つ、どうしても気になることがありました。ある女性の言葉です。

「私は、戦争で悲しいことも苦しいこともたくさん体験

しました。でも、同時に、人が人を大切にできる心、人を思いやる心にも気付かされました。」

私は「なぜ悲しく苦しい体験から、人を思いやる気持ちに気付かれたのか？」と疑問に思いながら、女性の話に耳を傾け続けました。その女性が体験した出来事とはこうです。

幼い子どもを連れられた彼女は、砲弾の飛び交う中、長時間歩き続け、ようやく「がま」を見つけました。ところが、「がま」の中はすでに大勢の人であふれかえっていました。そして、その中にいた人たちは、「帰れ」とばかりの視線を、女性と子どもに投げたのです。ようやく見つけた「がま」なのに、死ぬかもしれない道をまた歩き続けなければならぬのか、という絶望感で、彼女はいつぱいでした。そんなとき、ある男性が立ちあがり、「ごうぞ、中に入ってください。」

と言に残し、「がま」を去ったのです。自分の命を犠牲にして。

悲しみや苦しみという極限状況の中で、人を思いやる心を受け取った人は、決してその心を忘れない。

女性の体験談を聞いて、私はふと自分が小学生だったと

きのことを思い出しました。

私は当時、背中から手術をするために、一人、家から遠く離れた病院に入院していました。周りには知らない人ばかり。寂しさと不安で、私は押しつぶされそうになっていました。

そんなときに私を救ってくれたのが、毎日のように届いた友だちからの励ましの手紙でした。あのときの私は、それを読むことが唯一の楽しみでした。手術が終わった後にも、クラス全員が私のために寄せ書きを書いてくれました。それを受け取ったときには、手術の痛みなんて忘れてしまうくらいに嬉しかったです。あのとき、私が思ったこと。それは、「今度誰かが苦しいとき寂しいときは、絶対に私が力になる」ということでした。

辛いときこそ、人は人を大切にし、人を思いやる気持ちに気付かされる。女性の体験談と、自分の体験談を重ね合わせてみて、そんなことを改めて私は思いました。

今の私は、まだまだ周りの人たちに助けてもらってばかりです。それでも、私はぜひ今まで私を助けてくれたみんなに「ありがとう」を伝えたい。そして、「がま」で女性を助けたあの男性のように、私の心を救ってくれた友だちのように、いつか「誰かのた

人権標語

めに」行動できる人間になりたい。そう思います。

今回の修学旅行で、「沖縄戦」を学習することがなければ、私はこんな大切なことをふり返ることはなかったかもしれない。人が人を大切にすることを思いやる心。慌ただしく毎日を送っているとなつていまいがちな心。これは、受け取った者たちが次へと引き継いでいかなければならぬ「大切なこと」なのではないのでしょうか。

友だちの 優しさ笑顔で
またがんばれる

福崎東中学校2年(当時)
浦上瑞季

けんかやめれば
すぐに仲よし

高岡小学校3年(当時)
神月直央登

ありがとう

気持ちと気持ちのプレゼント

八千種小学校4年(当時)
高坂実由

スマイルは みんなと仲良くなれる
おまじない

田原小学校6年(当時)
尾花麻衣